

教科目標	広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。			主な評価資料					
	主な学習内容	4月	5・6月	7・9月	学習時の様子	課題レポート発表	ノート作成	定期テスト	テスト直し
教科目標	広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。			主な評価資料					
主な学習内容	第4章 武家政治の発展と世界の動き 3節 江戸時代の社会 4節 社会の変動と幕府の対応 4月	第5章 近代日本の歩みと国際社会 1節 欧米諸国の衝撃と日本の変革 2節 新しい価値観のもとで 3節 国会開設への歩み 4節 アジアの日本から世界の日本へ 5・6月	第3章 世界の国々を調べよう ・中国を調べよう ・アメリカ合衆国を調べよう 7・9月	学習時の様子	課題レポート発表	ノート作成	定期テスト	テスト直し	
観点	評価規準								
社会的事象への関心・意欲・態度	A・江戸時代後期の変動と幕府の対応について関心を高め、意欲的・積極的に追求している。 B・江戸時代後期の変動と幕府の対応について関心を高め追求している。	A・幕政改革、明治維新の経緯のあらましや日本の国際的地位の向上に対する関心を高め意欲的・積極的に追究している。 B・幕政改革、明治維新の経緯のあらましや日本の国際的地位の向上に対する関心を持ち追究している。	A・中国、アメリカ合衆国に関する地図や統計・資料を用いて、意欲的に地域的特色をとらえようとしている。 B・中国、アメリカ合衆国に関する地図や統計・資料を用いて、地域的特色をとらえようとしている。	◎	◎	◎	◎	○	
社会的な思考・判断	A・江戸幕府の農村支配、社会変動への対応を通して、幕府の政治の特色を意欲的に考察している。 B・江戸幕府の農村支配、社会変動への対応を通して、幕府の政治の特色を考察している。	A・欧米諸国のアジア進出や日本の開国とその後大陸との関係を多面的・多角的に考察し公正に判断している。 B・欧米諸国のアジア進出や日本の開国とその後大陸との関係を考察し判断している。	A・中国、アメリカ合衆国の地理的事象を基にして人間の営みとの関わりを多面的・多角的に考察している。 B・中国、アメリカ合衆国の地理的事象を基にして人間の営みとの関わりを考察している。	○	○	○	◎		
資料活用の技能・表現	A・政治や社会の大きな変化と文化・産業の発展に関する文献などの様々な資料を適切に選択して活用するとともに追究し考察した結果をまとめることができる。 B・政治や社会の大きな変化と文化・産業の発展に関する文献などの様々な資料を適切に活用することができる。	A・欧米諸国のアジア進出や日本の開国とその後大陸との関する文献、絵画、グラフなどの資料を適切に選択して活用するとともに結果をまとめたり説明したりしている。 B・欧米諸国のアジア進出や日本の開国とその後大陸との関する文献、絵画、グラフなどの資料を活用できる。	A・中国、アメリカ合衆国の地図の読み取り、統計のグラフ化や地図化など、学習に役立つ情報を適切に選択して活用している。 B・中国、アメリカ合衆国の地図の読み取り、統計のグラフ化や地図化など、学習に役立つ情報を活用することができる。	◎	◎	○	○		
社会的事象についての知識・理解	A・江戸幕府の政治の特色を、日本の歴史とかかわる世界の歴史を背景に理解し、鎖国下の対外関係に気付き、その知識を十分身に付けている。 B・江戸幕府の政治の特色を、日本の歴史とかかわる世界の歴史を背景に理解し、鎖国下の対外関係に気付き、基本的な知識を身に付けている。	A・明治維新の経緯のあらまし、その後の近代国家の基礎が世界との関わりから整えられたことを理解しその知識を十分身に付けている。 B・明治維新の経緯のあらまし、その後の近代国家の基礎が世界との関わりから整えられたことを理解し基本的な知識を身に付けている。	A・地域の環境条件や他地域との結び付きなどと人間の営みとのかかわりに着目しその特色を理解し、知識を十分に身に付けている。 B・地域の環境条件や他地域との結び付きなどと人間の営みとのかかわりに着目しその特色を理解し、基本的な知識を身に付けている。	○	◎	◎			

教科目標	広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。			主な評価資料				
	学習時の様子	課題レポート	ノート作成	定期テスト	テスト直し			
主な学習内容	第6章 現代の日本と世界 1節 世界の情勢と大正デモクラシー 2節 日本がアジアで行った戦争 10・11月	第4章 世界と比べてみた日本 ・世界と比べて日本の特色をまとめる ・日本国内の特色をまとめる 12・1月	第6章 現代の日本と世界 3節 戦後の日本の成長と国際関係 4節 これからの日本と世界 2・3月					
観点	評価規準							
社会的事象への関心・意欲・態度	A・第一次世界大戦前後の国際情勢とこの時期の日本の国民の政治的自覚の高まりに対する関心を高め、意欲的・積極的に追究している。 B・第一次世界大戦前後の国際情勢とこの時期の日本の国民の政治的自覚の高まりに対する関心を持ち追究している	A・世界と比べて見た日本の地域的特色を自然環境、人口、資源や産業、生活・文化、地域間の結びつきについて意欲的・積極的に追究している。 B・世界と比べて見た日本の地域的特色を様々な視点から追究している。	A・昭和初期から第二次世界大戦の終結までの日本と世界の動きに対する関心を高め意欲的・積極的に追究している。 B・昭和初期から第二次世界大戦の終結までの日本と世界の動きに対する関心を持ち追究している。	◎	◎	◎	◎	○
社会的な思考・判断	A・第一次世界大戦から第二次世界大戦の終結までの日本の政治・戦争までの経過及び戦争の影響を多面的・多角的に考察している。 B・第一次世界大戦から第二次世界大戦の終結までの日本の政治・戦争までの経過及び戦争の影響を考察することができる。	A・日本の地域的特色を自然環境、人口、資源や産業、生活・文化、地域間の結びつきについて意欲的に追求している。 B・日本の地域的特色を自然環境、人口、資源や産業、生活・文化、地域間の結びつきについて追求している。	A・第二次世界大戦後、国際社会に復帰するまでの日本の民主化と再建の過程を参加を意欲的に考察している。 B・第二次世界大戦後、国際社会に復帰するまでの日本の民主化と再建の過程を参加を考察することができる。	○	○		○	◎
資料活用の技能・表現	A・第一次世界大戦後から第二次世界大戦までの日本と世界の動きに関して、文献、統計・グラフなどの資料を活用し、考察した結果をまとめることができる。 B・第一次世界大戦後から第二次世界大戦までの日本と世界の動きに関して、文献、統計・グラフなどの資料を活用することができる。	A・世界や日本の諸地域の自然環境、人口、資源や産業、生活・文化、地域間の結びつきに関する地図や統計その他の資料を適切に選択して活用することができる。 B・世界や日本の諸地域の自然環境、人口、資源や産業、生活・文化、地域間の結びつきに関する地図や統計その他の資料を活用することができる。	A・現代日本と世界の動きに関する文献、映像、統計・グラフなどの様々な資料を活用し、考察した過程や結果をまとめることができる。 B・現代日本と世界の動きに関する文献、映像、統計・グラフなどの様々な資料を活用することができる。		◎	◎	○	○
社会的事象についての知識・理解	A・昭和初期の日本の歴史のあらましを世界の動きと関連させて理解し、その知識を十分身に付けている。 B・昭和初期の日本の歴史のあらましを世界の動きと関連させて理解し、基本的な知識を身に付けている。	A・世界と比較し関連付けてとらえた日本の地域的特色と国内の諸地域の特色を理解しその知識を十分身に付けている。 B・世界と比較し関連付けてとらえた日本の地域的特色と国内の諸地域の特色を理解し基本的な知識を身に付けている。	A・大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたこと、また第二次世界大戦後の民主化を理解し、その知識を十分身に付けている。 B・大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたこと、また第二次世界大戦後の民主化を理解し、基本的な知識を身に付けている。		○		◎	◎